

当院における経口セマグルチドの使用実態と有用性の検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

2型糖尿病患者さんに使用出来る薬剤の中で、唯一の経口投与可能なGLP-1受容体作動薬である経口セマグルチドは、皮下注射が必要な従来のGLP-1受容体作動薬と異なり、簡便に導入可能な薬剤です。しかし実臨床において、どのような患者さんに使用され、どの程度の有用性があるのか、データの集積が不十分な状況です。そこで今回、当院糖尿病センターにおける経口セマグルチドの使用実態を調査し、その有用性に関して検討します。

研究の対象となる方

2023年4月～2023年6月に当院で経口セマグルチド治療を受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、身長、体重、BMI、HbA1c、経口セマグルチド開始時の切り替え薬の有無、併用薬、開始後3ヶ月、6ヶ月のHbA1cの変化量、体重変化量、薬剤による有害事象の有無など
使用開始予定日：2023年9月7日～

研究予定期間

2023年9月7日～2023年12月2日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 糖尿病内科 松尾 靖人

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 糖尿病内科 松尾 靖人

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)